

# 学びっこ通信



発行：栄小学校学力向上チーム

令和3年6月22日



## 家庭学習のヒント② ～【人口約 2500 人の山村が学力日本一になったワケ】

秋田県にある人口約 2500 人の山間の小さな村、東成瀬村で活用している自学ノート。自分で勉強をする内容を決めて、家庭で学習するための自主学习ノートについて、前号からの続きです。

### 自学ノート 5つの約束

#### ①日付（〇月〇日）を書く

##### <立ち返るポイント>

- ・いつの勉強だったかをすぐ思いだせ、復習などに有効
- ・毎回決まった位置に書いて、目的の日をすぐ検索

#### ②取り組む内容（計算ドリルの〇ページなど）を書く

##### <立ち返るポイント>

- ・ノートを開けばすぐにやった内容がわかる
- ・ドリルなどはページや番号を入れると、答え合わせがスムーズ
- ・将来的に自分で学習計画を立てる力の基礎となる

#### ③取り組んだ時刻・時間（〇時〇分～〇時〇分まで）を書く

##### <立ち返るポイント>

- ・量のノルマがない代わりに、勉強時間の目安を可視化
- ・勉強時間は学年×10分+10分が基本。2年生なら2×10分+10分で、30分が目安
- ・勉強時刻から生活が乱れていないかチェック
- ・ちょうどいい勉強量を見つけ、正しい生活のリズムを作る

①日付を必ず書きます

②取り組む内容を書きます

#### ④めあてで弱点を克服する

##### <立ち返るポイント>

- ・ビジョンをもって学習に取り組む
- ・最初はクリアしやすいことをしながら、じょじょにレベルアップ
- ・最後は、苦手なことや弱点に積極的に取り組むよう意識改革！

#### ⑤振り返りで次につなげる

##### <立ち返るポイント>

- ・自分がどれくらいのことできて、次はどう改善すれば目標を達成するのか考えさせる
- ・要点をまとめて書くトレーニング
- ・次に学ぶことへの興味や好奇心、もっと上を目指してやる気を起こさせる

出展：書籍『学力日本一！秋田県東成瀬村のすごい学習法』主婦の友社

⑤振り返りを書きます

④めあてを書きます

⑥始めた時刻→終わりの時刻を書きます

■自学ノートはうまく活用すれば、子どもに無理を強いることなく、学習に向かわせるとともに、子どもにいい意味で主体性をもたせることで学ぶ意欲に刺激を与え、子どもの可能性を広げます。そして、ここからがおうちのみなさんの出番です。このノートにおいての親の役割は、子どものやったことをよく見て丁寧なアドバイスしてあげること。きちんとできていればほめる。抜けているところ間違っているところには、叱らない。まずは必ずいいところを見つけ、「ここはこうしてみたら」と責めるのではなくアドバイスに徹する。子どものがんばりを、きちんと認めてほめてあげる。子どもを尊重してあげれば自学ノートは親と子によって、学習をチームにしたコミュニケーションツールとなるのです。自学ノートは人よりも先に進むことや量を競うものではありません。長い時間をかけて学ぶ力を養う。目先ではなく、長い目で東成瀬村は子どもを見ています。このスタンスは、とても大切ではないでしょうか？私たち教師も子どもたちと真摯に向き合い、未来を共にめざしていきます。

